

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎
TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

検査内容変更項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
さて、かねてより検査受託頂いております、「アミノインデックス技術」を用いた、がんリスクスクリーニング検査、AICS®(エーアイシーエス)に、新たな解析対象として「膵臓がん」が追加されることとなりましたので、ご案内申し上げます。
何卒、ご利用、ご用命の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

● 検査内容変更項目:

- 男性 AICS(エーアイシーエス) 5種
- 女性 AICS(エーアイシーエス) 6種

◆ 変更開始期日:平成 27 年 8 月 24 日(月)受付分より

※詳細につきましては裏面をご参照ください

■ AICS®(エーアイシーエス)

下健常者における血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ、一定に保たれるようにコントロールされていますが、がん患者では一定に保たれている血液中のアミノ酸濃度のバランスが変化することが報告されています。

AICS®(エーアイシーエス)は、血液中のアミノ酸濃度を測定し、健常人とがん患者のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、現在がん罹患しているリスクを評価する検査です。(アミノインデックス®の解析は、味の素株式会社に委託して解析されています)

このたび、新たな解析対象に早期発見が課題とされる「膵臓がん」を加え、より広いがん種を一度に検査できるようになりました。

● 各 AICS®の解析対象となるがん種

項目	解析対象がん種類
男性 AICS(5種)	胃がん／肺がん／大腸がん／膵臓がん／前立腺がん
女性 AICS(6種)	胃がん／肺がん／大腸がん／膵臓がん／乳がん 子宮がん(子宮頸がん・子宮体がん)・卵巣がん※

※ 子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。いずれかのがんであるリスクについて評価することができますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません

● AICS®の受託における注意点

・AICS®は下記年齢の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外の AICS 値は評価対象外となります。ご依頼の際は、性別・年齢を必ず明記してください。

対象がん	対象年齢
胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
前立腺がん	40歳～90歳
子宮がん(子宮頸がん・子宮体がん)・卵巣がん	20歳～80歳

・検査前8時間以内に、水以外(食事、サプリメント等)は摂らないで、午前中に採血してください。

・検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天代謝異常の方、透析患者の方は、AICS 値に影響がありますので検査は受けられません。

・血漿(EDTA-2Na)以外の材料は、受託できません。

● 検体採取方法

- 1、 EDTA-2Na 入り採血チューブにて血液約5mL を採取してください
- 2、 採血直後、血液を2～3回軽く転倒混和してください(ローラーでの混和は行わないでください)
- 3、 混和後直ちに(1分以内)採血チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15分間以上、遠心操作まで冷却)してください
- 4、 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4℃、3,000回転、15分)または通常遠心分離(3,000回転、15分、ローターが昇温していないこと)してください
- 5、 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れないように血漿上清の中央部から採取し、分注してください
分注後、血漿を4時間以内に凍結保存してください

● 参考文献

Kazutaka Shimbo, et al: Biomedical Chromatography 24:683～691, 2010.(検査方法参考文献)

岡本直幸: 人間ドック 26(3): 454～466, 2011.(胃、肺、大腸、前立腺、乳腺)

宮城悦子, 他: 人間ドック 26(5): 749～755, 2012.(子宮・卵巣)

Fukutake N, et al: PLoS One 10(7): e0132223, 2015.(膵臓)